

課程	公益学研究科 修士課程	年度	2026年度	開講時期	秋学期
科目名	地域共創研究c (合意形成・コーディネーション論)				
担当教員	**			単位	2単位
授業概要	地域社会或いは職場等の課題解決の現場では、多様な個人や組織の連携・協働と参加を促進し、課題解決の実践を仕掛けるコーディネーションが必要とされている。本科目では、合意形成及びコーディネーションに関する理論を学び、その上で庄内地域及び全国の地域課題解決の現場におけるコーディネーションの実際とその技術、実践方法をケース・スタディを通して学修する。また、授業を公開し（対象は地域共創コーディネーター養成プログラム修了生等に限定）、多様な立場の方々や院生が、ともに学び、協働・共創する場とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 合意形成及びの理論を学び、地域、職場等における合意形成のあり方について考える。 コーディネーションの理論を学び、ケース・スタディを通してコーディネーションの技法を学修する。 社会づくりや地域づくりに主体的に参加する態度・心構えを醸成する。 				

授業計画

回	授業内容
第1回	ガイダンス：目的・理念、すすめ方 ※武田 （10月1日・木・6時限）
第2回	合意形成・コーディネーションに関する先行研究の紹介 ※武田 （10月1日・木・7時限）
第3回	合意形成におけるファシリテーションとコーディネーションの理論 ※加留部・武田 （10月10日・土・1時限）
第4回	合意形成におけるファシリテーションとコーディネーションの実際（1）演習 ※加留部・武田 （10月10日・土・2時限）
第5回	合意形成におけるファシリテーションとコーディネーションの実際（2）事例検討 ※加留部・武田 （10月10日・土・3時限）
第6回	合意形成・コーディネーションの事例研究（1）プロセス・デザイン ※加留部・武田 （10月10日・土・4時限）
第7回	合意形成・コーディネーションの事例研究（2）プログラム・デザイン ※加留部・武田 （10月11日・日・1時限）
第8回	合意形成・コーディネーションの事例研究（3）マネジメント・デザイン ※加留部・武田 （10月11日・日・2時限）
第9回	合意形成・コーディネーションの個別ケース検討（演習）（1）第1グループ ※加留部・武田 （11月21日・土・1時限）
第10回	合意形成・コーディネーションの個別ケース検討（演習）（2）第2グループ ※加留部・武田 （11月21日・土・2時限）
第11回	合意形成・コーディネーションの個別ケース検討（演習）（3）第3グループ ※加留部・武田 （11月21日・土・3時限）
第12回	合意形成・コーディネーションの個別ケースの相互評価（演習） ※加留部・武田 （11月21日・土・4時限）
第13回	合意形成・コーディネーションの今後の展開 ※加留部・武田 （11月21日・土・5時限）
第14回	全体のふりかえり（演習） ※加留部・武田 （11月22日・日・1時限）
第15回	まとめ ※加留部・武田 （11月22日・土・2時限）

ハイフレックス授業可

第1回	○	第2回	○	第3回		第4回		第5回	
第6回		第7回		第8回		第9回		第10回	
第11回		第12回		第13回		第14回		第15回	

成績評価	演習（グループワーク等）における貢献・発表内容 40%、第3講後の課題 30%、レポート 30%。		
前掲科目	共創の技法	後継科目	
教科書	・武田真理子、伊藤真知子、加留部貴行編『地域共創のすすめ一人がまなぶ、人がつながる、地域がつながるー』（北樹出版、2025年）ISBN: 978-4-7793-0779-9		
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 堀公俊、加藤彰『ディビジョン・メイキング: 賢慮と納得の意思決定術』日本経済新聞出版社、2011年 猪原健弘編『合意形成学』勁草書房、2015年 加藤尚武『合意形成の倫理学』（現代社会の倫理を考える16）丸善株式会社、2009年 その他、授業で紹介します。 		
予復習内容・所要時間	参考書、配布資料等の予習と復習。（1時間程度）		
その他・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日及び日曜日の5回の集中開講という変則的な時間割です。 第3講の最後に課題を出します。11月中旬の締め切りとなりますので、担当教員の指示に従い、授業時間外の学修時間を確保し、指定の方法で提出して下さい。 		